

1、訂正

競技注意事項 1、規則 ⑤の内容について下記の通り訂正差し替えます。

⑤ 競技用靴の規定は、(公財)日本陸上競技連盟競技規則 TR5. 2、競技用靴、のとおりとする。

*靴底(踵の下の靴底を含む)は、11 本以内のスパイクを取り付けられる構造とし、11本迄使用できる。

スパイクの長さは、9mmを超えない。ただし、走高跳・やり投は 12mmを超えないものとする。

また先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。

ピンの形状は全天候舗装の競技場で使用できる物とし、土のグランド用のピンを使用することは禁止する。

*靴底の厚さは、トラック競技・フィールド競技ともに 20mm以内とする。

*シューズについては、WA(世界陸連)の認証品リストを確認の上、使用することを前提としているので、靴底の厚等の確認や検定は必ず実施するものではないが、各審判長の判断により、検定を実施する場合がある。

*砲丸投・円盤投において、短距離用スパイクシューズのピンを取り外して使用することは禁止する。

2、雷鳴・雷光・熱中症指数などの競技中の気象条件への対処について

*雷鳴・雷光等予報及び発生時点に対応し、競技の一時中断退避・中止など主催者の指示に従ってください。

*熱中症指数計で競技場環境測定します。適宜フィールドのミスト発生での対応実施、競技環境の維持に努めますが、競技者は熱中症予防対策、水分などの準備を十分をお願いします。この事で主催者は競技の一時中断・退避とする場合がありますので主催者の指示に従ってください。

地震等自然災害、感染症等、その他主催者が大会の安全な開催維持困難と判断した場合、一時中断・退避、または中止とする場合があります。また天候の急激な気象条件悪化による場合、競技途中であっても中断・中止する場合がありますが、これらの事態に際して中止した場合、参加料の返金はいえな事を御了承下さい。